

1 学校づくりの理念

この世に生を受けた一人一人の子どもは、かけがえのない存在である。また、地域の高齢化や児童数減少が進む中で、子どもは地域の大切な宝でもある。その子どもたちが、学校生活に楽しさや喜びを感じ、また、時には不安や悩みに直面してもそれら乗り越え、将来に向かって夢や希望をもち力強く生きていけるような人間に育てていくことが、教師としての責務である。

今年度の教育活動においても、「すべての教育活動はかけがえのない子どもたちのために」の視点に立ち、全教職員が学校経営に積極的に参画し、使命感をもって自らの資質や能力を最大限に発揮して、よりよい教育活動を創造することが大切である。保護者や地域との相互信頼と協働のもと、児童の徳・知・体の一層の向上を目指し、「一人一人の子どもを見つめ、理解し、働きかける」取組を重視していきたい。

2 校訓 「微笑誠心」(笑顔と真心で人と接する)

3 教育目標(めざす子ども像)

微笑誠心 ～豊かな心を持ち共に学び合うたくましい子ども～

4 努力目標

- ・やさしく 自分も友だちも大切に作る子どもを育てる。
- ・かしこく 自分の思いをしっかりと伝え合う子どもを育てる。
- ・たくましく 自ら進んで健康で安全な生活を送る子どもを育てる。

5 めざす学校像

地域と共にある学校

～金木を愛する人、金木の人からも愛される子どもを育てる～

6 めざす教師像

- ・使命感や誇り、子どもへの愛情と責任感を持ち、自らが主体的な教員
- ・児童が生きていく未来社会を見据え、協働し、教育課題に挑戦し続ける教員
- ・家庭や地域社会との連携を図り、学校としての組織対応ができる教員

7 学校の教育課題と今年度のスローガン

- ・道徳性の向上
 - ・学力の向上
 - ・自己有用感の向上
- ～「笑顔」と「夢」と「ありがとう」があふれる金木小学校～

8 経営の方針

(1) 「笑顔があふれる金木小学校」にするために

- ①道徳科の授業の改善・充実及び全教育活動を通じて道徳性の向上に努める。
- ②授業等において積極的に生徒指導の実践上の4つの視点を生かし、居心地のよい学級・学校づくりに努める。
- ③児童理解に基づいた指導・支援により、よりよい人間関係や集団生活の形成を図る。

(2) 「夢があふれる金木小学校」にするために

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
- ②楽しく根気強く学び合い、基礎・基本の定着を図る授業づくりに努める。
- ③健康教育を推進し、健康な体づくりや体力の向上を図る。

(3) 「ありがとうがあふれる金木小学校」にするために

- ①自己有用感を高めるため、様々な教育活動の場で創意工夫に努める。
- ②地域の環境や人材を活用した取組で故郷や地域の人への豊かな心情を培う。
- ③幼保小中連携のもと長期間を見通した人材育成に努める(言葉を育て、心を育て、人を育て)。

9 重点事項

(1) 「笑顔があふれる金木小学校」について

- ①多様な指導法を取り入れた考え議論する道徳への授業改善を図るとともに、児童の実態に応じた内容項目を重点とする。
 - ・「思いやり・親切」「正直」「誠実」「礼儀」
- ②「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」をキーワードとして児童が達成感や満足感を味わえる教育活動を推進する。
 - ・【目標値】 先生や友達はよいところを認めてくれている 肯定的回答90%
- ③1) 定期的な学校生活アンケートや教育相談により児童理解を深め、いじめの早期発見と早期対応に努める。
2) ユニバーサルデザインの視点を大切にし、特別な支援を要する児童への対応及び特別支援教育の充実を目指す。

(2) 「夢があふれる金木小学校」について

- ①「分かる」喜びと「できる」達成感・成就感を味わわせる工夫に努める。
 - ・聴く力の育成、聴き合い学び合う姿の伸長に努める。
 - ・言語活動を多様に取り入れ、思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・読解力向上や自己の将来に繋げるための読書活動を充実させる。
- ②学習用端末等を効果的に活用した授業実践を目指すとともに、特別活動やキャリア教育等の推進に努める。
 - ・ICTに関する情報の共有化を推進する。
 - ・キャリア教育は、学級活動を要として教育活動全体を通じて推進する。
- ③健康教育の推進（感染症予防、むし歯の治療）に努め、体力づくりを通じた取組により「やりぬく力」を育成する。

(3) 「ありがとうがあふれる金木小学校」について

- ①あいさつの習慣形成と互いに感謝する心の育成
 - ・「おはよう」や「ありがとう」の言葉を意識させる取組を推進する。
 - ・自己有用感アンケートを実施し、児童の意識の変容を確認する。
【目標値】自分にはよいところがある 肯定的回答90%
 - ・4つのあ（①あいさつ・へんじ、②ありがとう ③あきらめない ④あたりまえのことをあたりまえに）を大事にする。
- ②芦野公園・斜陽館や奴踊り・金木さなぶり荒馬踊り等の地域の環境や芸能、人材を積極的に取り入れ、様々な教科と関連付けた学習を推進する。
 - ・事前や事後の指導を通して感謝する心などの育成に繋げる。

(4) 安全・安心で信頼される学校づくり

- ①合理的配慮への理解促進を図る。（合理的配慮にかかる教員研修、児童への指導、保護者への啓蒙）
- ②安全な教育活動が実施できる整理・整頓された環境の整備に努める。
- ③教職員のコンプライアンスを徹底する。

(5) 全教職員による組織的・機動的な学校運営

- ①和を重んじ、チーム一丸となり支え合い、笑顔あふれる組織の醸成
- ②報告、連絡、相談・確認を徹底し、組織内で確実に情報を共有する。
- ③教育目標の具現化に向け、適切な学校評価を行い教育活動の改善に生かす。

(6) 教職員の心身の健康増進に向けた多忙感の解消

- ①水曜日を定時退勤日として、ノー残業デーとする。
- ②GIGA端末を活用したペーパーレス化及び効率化に取り組む。
- ③バイアスから脱却し創造的余白を目指した業務改善の視点を重視するとともに、多面的多角的に検討しながら業務改善を目指していく。